



近藤 宣之 社長

グローバル時代の進化した 日本的経営を推進

同時に社員のものであ

た。

ります。その結果、社員一人一人が当事者意識を持ち、高いモチベーションを維持しております。

世界の光技術を通じてお客様やパートナーと共存共栄するため、世界80社の製品と最適なソリューションを提供し、お客様

「会社は誰のものか？」という問いに対して、「それは株主のものである」という答えに続き、「会社は誰のためのものか？」という問いには、「それは社員のためのものである」ということが良くいわれます。

かつて当社でも、新卒採用、年齢別、学歴別、男女別、そして国籍別の待遇をしてきた結果、異質なものを排除しがちな閉塞感ある企業風土になっていました。グローバル経営の時代に古い処遇制度を改め、活力ある企業へと変身を図りました。

これからも、多様な人材、生涯雇用、能力・貢献度・理念の体現に応じた処遇等、「進化した日本的経営」で、社会のために貢献してまいります。